

令和7年5月審査会だより

保険請求時のポイントをお知らせしています。返戻等があることがございます。

1. 非弁膜症性心房細動、静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）なく
リクシアナ OD錠 60 mgの算定は適応外となる。
2. 次の傷病名に対する抗甲状腺マイクロゾーム抗体半定量又は抗甲状腺ペルオキシ
ダーゼ抗体の算定は、原則として認められる。
(1)バセドウ病（初診時または診断時）(2)甲状腺機能亢進症（初診時または診断時）
(3)慢性甲状腺炎・橋本病（初診時または診断時）
(4)甲状腺機能低下症（初診時または診断時）(5)無痛症甲状腺炎（初診時または診断時）
3. 次の傷病名の確定診断後に対する非特異的 IgE 半定量又は非特異的 IgE 定量と
特異的 IgE 半定量・定量の同一日の併算定は、原則として認められる。
(1)アトピー性皮膚炎 (2)気管支喘息 (3)アレルギー性鼻炎 (4)食物アレルギー
4. 亜鉛欠乏症に対して投与開始時に亜鉛（Zn）の検査がない酢酸亜鉛水和物製剤
（ノベルジン錠等）の投与は、原則として認められない。
5. 2型糖尿病に対する次の糖尿病治療剤とインスリン製剤の併用投与は、原則として
認められる。
(1)ビグアナイド薬 (2)チアゾリジン薬 (3)スルホニル尿素（SU）薬
(4)グリニド薬（速効型インスリン分泌促進薬） (5)DPP-4 阻害薬
(6) α -グルコシダーゼ阻害薬 (7)GLP-1 受容体作動薬
6. 脂肪肝に対するウルソデオキシコール酸錠（ウルソ錠等）の算定は、原則として
認められない。
7. 腎性貧血の原因となる傷病名の記載がない「腎性貧血」に対する HIF-PH 阻害薬
（ダブブロック錠等）の算定は、原則として認められない。
8. 臨床所見から抗生物質製剤の投与を必要とした場合は、傷病名欄に「傷病名」を、
更に長時間投与が必要と判断した場合には、その必要理由をレセプト摘要欄に記載
してください。
9. 疑い病名に対する投薬は認められていない。
10. レセプト提出前に病名の不備がないか十分にチェックしてください。